

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

## 2018・2月号

### 石川県学校生活協黒字化3か年計画の2年目 「今年は大雪でしたが、もうすぐ春です！」

「津幡の空から」12月号の編集後記に「大雪警報」と書いた通り、1月末から2月中旬まで波状に寒波が襲い、見事に大雪になりました。実はこの警報、近所のおばさんが、「今年は柿が豊作だから大雪になる」と言ったのを聞いて書いたのです。そこで、私は新しいママさんダンプを早速購入し、雪に備えました。

備えあれば憂いなしのはずなのですが、そんな備えなどお構いなしに、どっさり雪が連日降り続けました。もう人力ではお手上げの状況、早く除雪車が入らないかなと待たなくてはならない日が何日も続きました。テレビを見ると、我が家（加賀市大聖寺）の近くの国道8号線から全国に映像が流れていました。

その雪はまだ残っていますが、徐々にとけて今は汚い雪の塊となっています。そして「雪がとけると何になる」という子どもの謎かけではないのですが、「水ではなく春」になります。3月21日は春分です。本当に永く、きつかった冬も終わります。

石川県学校生活協同組合の経営も、早く春になりたいものだと思っています。その兆しは見えて来ています。あと少しのご協力をよろしくお願いします。



2017年度1月末 1,690万円の赤字です。計画目標より333万円悪化。

石川県学校生活協の2017年度1月末現在の経常剰余金は▲1690万円です。計画目標は▲1357万円ですから333万円もの悪化です。2016年度1月末が▲1349万円でしたから、それよりも342万円悪化です。1月下旬から2月中旬の大雪により配送が出来なかった供給減少も心配です。2017年度の年間目標は▲880万円ですが、現在の予想では▲1214万円です。ホップ（2016）・ステップ（2017）・ジャンプ（2018）で黒字化と計画しています。目標達成に向けて一歩でも近づく努力を続けています。ご協力をお願いします。

また、春の全員利用運動の注文が締切られました。大雪の所為で配送に遅れが予想されます。何とか約束の期日までにとは思っていますが、多少の遅れにはご勘弁をお願いします。

みなさん！何かを買いたいと思った時には、必ず学校生活協・学校用品で買えないかを思い浮かべてください。十分間に合うものがあります。年間1万円の増額のご購入、よろしくお願い致します。あなたの学生協、みんなの学校用品です。

### 《学校生活協と私》 天神山小 西田 透

数年間まで、放課後の職員室で学校生活協のチラシをめくりながらしばしばの息抜き。という姿が見られました。最近はずつととチラシをめくっている方を見ることがめつきり減ってしまったように思います。私も同じで、最近はずつとと開くことがなく、箱に戻すことがよくあります。

今年度、理事会に参加させて頂き私たち教職員の一助に合った商品を選んだり、企画商品を盛り込んだり、私たちのことを思いながら日々働いてくださる方々がいることを知りました。

学校生活協は私たちが支えています。私たちも利用することで学校生活協を支えて行かなければなりません。思いの詰まった商品をより多くの方々に手にしていただきたいと思っています。

子どもたちとの帰りの会を終えて職員室に戻ると、机の上には生協のチラシが置かれている。折りたたまれたそれを開くと、季節に合わせたバラエティー豊かな商品が目に入る。見ているだけでほっとするし、わくわくする。おいしい食品。私たちの仕事に欠かせない参考書や文房具。生活雑貨など、ありとあらゆる商品が並んでいる。先輩の先生が「あら、これいいわねえ。」「これ、おいしいのよね。」と言いながらチラシをめくっている。

### 編集後記 スティブロの葉っぱ！

「理事長、スティックブロッコリー（あとはスティブロと表記）の葉っぱも食べられるんですよ」と学生協の玄関で育てているスティブロを食べている職員が私に教えてくれました。私は知りませんでした。でも、その職員が知ったのは、葉っぱを取ってしまったら、肝心の脇芽の茎が出てこないのではないかと心配だと言うのです。それについて、植物は元来強いものですから、光合成ができる範囲であれば、多少のことでは大丈夫だと言いました。実はスティブロの収穫は、出では取り、出では取りを繰り返して、茎を痛めなければ長期間収穫できるのです。スティブロも5月に定植すれば8月には収穫できます。

さて、3月は、今年の野菜づくりの開始の月です。まずは、ジャガイモから。（ほその）